

受託試験

スプラッシュウォーター試験のご案内

電子機器の使用環境による信頼性上の課題として、電気機器のエンクロージャーの保護構造があります。特に、高密度実装化された車載実装基板においては、エンクロージャー内への水の侵入はその信頼性を考えるうえで重要となります。このような被水環境をシミュレートするために恒温器と散水装置を

一体化し、人手を介さずに連続して試験できる LV124 準拠の試験装置を神戸試験所に導入いたしました。

この試験装置を使うことで、冬季に車両がぬれた道路を走行する場合に起こる、高温のシステム/コンポーネントへの水はねを模擬した試験ができます。

特徴

■ LV124 に準拠、ISO16750-4 に準じた試験ができます

LV124 14.12 K-12 Temperature shock with splash water 試験に準拠しています。

ISO16750-4 5.4.2 Splash water 試験(槽内温度 140℃まで)に準じています。

■ 昼夜連続運転により試験期間の短縮ができます(試験期間 7日⇒3日※)

供試体を人手で恒温器と散水装置の間を移動させずに自動化しました。

夜間も連続運転が可能となり、試験期間の短縮を図ります。

※供試品の大きさや個数によって複数回実施する必要がある場合があります

■ 試験槽温度の影響を極力少なくし、供試体に届く水温を安定させます

断熱シャッターにより試験槽の温度によるスプラッシュノズルの温度上昇を最小限に抑えることで、供試体に届く水温を安定させます。

■ 試験状態の記録ができます

水温、流量、試験槽内温度の記録ができます。



スプラッシュウォーター試験装置外観

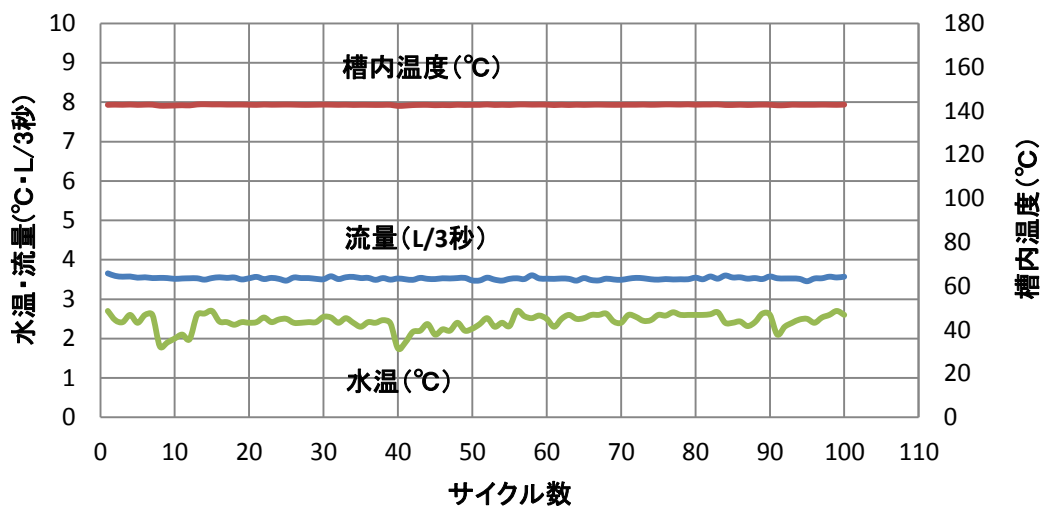


散水時の試験装置内部状態

試験装置仕様及び試験規格

スプラッシュウォーター試験装置仕様			
型式		SPT-701 (プロトタイプ名)	
テストエリア寸法		W 1100× H 600× D 1100mm	
使用可能 試験水		水道水+アリゾナダスト 3wt% FINE(ISO 12103-1(2016))	
性能	水温	0~4℃	
	流量	3~4L/3秒	
	試験槽温度範囲	常温~140℃	
	供試体サイズ (最大)	W500mm×H300mm×D500mm	
機能	供試体への通電	外部接点による散水中の通電/通電停止を選択可	
	試験中給水方法	自動給水	
試験規格(抜粋)		LV124 14.12 K-12 Temperature shock with splash water	ISO 16750-4 5.4.2 Splash water test
試験水		泥水 (アリゾナダスト 3wt%)	純水
試験槽温度 (最高)		140℃	65~160℃
サイクル時間		30分	1時間もしくは DUTの温度が安定するまで
試験サイクル数		100サイクル	
試験水温		0~4℃	
試験流量		3~4L/3秒	
散水時間		3秒	

LV124 14.12 K-12 Temperature shock with splash water 試験実測データ



注) 記載事項は参考データ情報であり、保証仕様ではありません
データは各サイクルの散水時のデータを抽出し、折れ線グラフで表示しています

エスペック株式会社 <http://www.espec.co.jp>

□本社 530-8550 大阪市北区天神橋 3-5-6

Tel:06-6358-4741 Fax:06-6358-5500

☑神戸試験所 Tel:078-951-0961 Fax:078-951-0967

□豊田試験所 Tel:0565-25-3364 Fax:0565-25-3365

□刈谷試験所 Tel:0566-62-8380 Fax:0566-62-8385

□バッテリー安全認証センター / 宇都宮試験所

Tel:028-667-8735 Fax:028-667-8733